

新編

山地中將の肖像附錄
過般讀者の投票多數により本紙の石版附錄と定りたる
山地中將の肖像は彌々來る二十日の本紙に
添へて讀者に配布すべし
當日の時事新報は臨時紙數を増刊するを以て印刷上多
くの時間を要すれば同日の紙上に掲載する廣告
は来る十八日迄に本社へ申込みあるべし

時事新報

昔かず又社會の上流に宗教の勢力薄くして特に青年は士人言行の制裁も甚だ嚴ならざるが故に西洋人の來り遊ぶ者の如きは或は別天地と呼び或は樂園の名と呈して故郷の俗塵を一掃したるを稱せざるはあし達に其言を聞けば恰も我日本の爲めに誇る可きが如くあれども更に沈思して内實を觀察するときは却て大に然らざるを發明す可し蓋し彼の諸國に於ては宗教の勢力もありず常に束縛に苦むひとあれば日本に來りて我國人の何事にも淡泊無頼着なるを見聞し漫遊の旅中、心の欲する儘を行ふて効げあきは實に外人の樂土として満足する所あらん責任あき旅客の爲めには好都合なる可しと雖も主人たる我國人の身を以て之を省れば偶も我人心の不取締にして國俗の堅固あらざるを語するに足る可きのみ樂土決して樂土に非ざるあり元來國風の盛衰は社會の事情と密ね相伴ふものにして譬へば日月天に輝いて草木影を生むるが如く政事軍事等の表面に繁忙を極むるときは人心爲めに奪はれて復た裏面風俗の過を顧みざるに至るふと古今の史乘に徵して明白あれば近來我國の人心風俗の堅固ならざるもの自から種々の原因あるべしと雖も其ふれをして羨ならしめ又醜あらしむるは重に社會に原動力ありて一々範例を示すに由るもの多きが如し之を聞く軍隊に將校團なるものあり此團體の行儀ふそ實に三軍の精神を支配するふとされば國謂社會の原動力とは猶ほ軍隊の將校團の如きものにして昔は士族の武士道を勵む者ありて恰も原動力の地位に立ちたりしが今や時勢と共に其趣を變じて文明男子の一類は正に之に代るふとあり將來も亦此任を解するふと能はざる者ならん輕からざる責任を帶る者と云ふ放縦淫行殆んど見るに忍ひざる者多し凡そ士人の世に在るや衣食を全ふして妻子を養ひ以て我事畢れりとも止むを得ざる次第あるに彼の文明男子は其德行の以て社會に標準たる可きものなきのみあらず日常の美衣美食も唯一時の外觀を裝ふのみにして内實に其美と載すの實力さへある者少なし不信無經濟、曾て無形の文體に益する所あくして却て風俗を害しあがら其の地位は間も社會に浅からざる原動力を及ぼす者ありと云々我輩は世故風俗の點より觀察を下し此程の

官起

本年當省令第十一號度量衡法施行規
度量衡器ノ製作、修復原器拂下代ノ規
任候條二十三年當省訓令第六號及第
八可シ

農商務省訓令第四十號參照
農商務省令第十一號戴衡法施行規則
(明治二十四年八月十九日) 括弧
第四十條 度量衡器の製作者ハ修製ノ
ヲ備ヘシ但其ノ賣渡ハ地方長官
製作ノ免許ヲ受ケタル者ハ其ノ原
於アハ地方長官ノ檢定ヲ受クヘシ

明治二十三年(二月十五日)農商務省訓令第六號ハ農商務省所管免支手數料鑄山借區我徵收稅序ナリ

○行政裁判所二十五年度の概算 行政裁判所に於ける
二十五年度経費の概算なりと云ふを聞くに係給及び
給は本年度の豫算より七千五百七十圓餘を増して三萬
六千四百九十四圓餘と爲り修繕費は五百五十圓餘を増す
て一千圓と爲り旅費は六百二十圓餘を増して一千圓と
爲り雜給は三百四十圓餘を増して二千二百圓と爲り其
費は三千圓餘を増して七千圓餘と爲り其合計凡そ四萬
七千六百九十四圓餘と爲るを以て之を本年度の豫算全額
に比すれば凡そ一萬二千百圓餘の増額ありと云ふ
○大坂の三州俱樂部 現今大坂に於て表向き政事上の
運動を爲すものは唯一の三州俱樂部あるのみなる

卷之三

文部此の俱樂部の成立ちは舊大同愛國自由の各黨派より組織し所謂東雲關西の兩新聞派の集合體あれは同じ俱樂部員中にも種々感情の衝突を來するもより分離説を唱ふる者少からず舊自由黨員硬派議員を賛成する者は今の自由黨に走らんどしも派に屬する者は自らねは近日の中には三州俱樂部の四分五裂を見るに至るへしと云ふ又舊自由大同派員中には敏捷く都部の運動を始め表面は地價修正論を唱へ居るも内實若し同俱樂部の分裂あらんには自家の味方を多く引入れんとの策略にて至る處演説懇親會を開き居るよしなり

○富士製紙會社の現況此頃是を興津の海邊に避けて歸途富士製紙會社を一覽したる社友が同社の現況ありて物語りたる處を聞くに同社工場の位置は東海道鐵道鈴川停車場を北に距るみどりそ一里半計富士郡鷹岡村字入山瀬とて富嶽の西南麓にあり其地勢丘に憑りて西潤川を帶ぶ工場は大抵煉瓦石造にして本工場の外に木鐵工場、機場、役員住宅職工合宿所等皆備る一見したる感結構總て壯大ならずと云ふ事あれ共左ればさて東京最寄の各工場を見廻りたるものも目には左迄珍らしとするに足らず唯水力利用と原料の豊富あるとは同社の特色として工業社會の耳目を引いたるものなるべし今一號、二號と順々逐ひ氣鍊室蒸シ場、コナシ場、漬場、白紙、板紙抄造場、碎木所と夫れゝ見廻れば山なす迄に累々と積み上けたる樅の割木を片端より粉微塵に打ち碎く木漬器械、直徑二十尺もあらんかと思はるゝ殊形鋸定を爲すに由あし只一晝夜に三萬封近くを製出すべしと云ふを聞て其尋常あらざるに驚くのみ左りあから是等は王子の製紙場を見ても左迄相違する處あるにあらば同工場の特色は之れにあらずして水力利用にあり水は潤川を西に控へて川の水源は大宮に發し里程僅か一二里に過ぎざるも富嶽の積雪と山腹十數里に涉る森林の雪霧濕下して湧出するものあれば古來渴水の憂さを以て同社は工場より七十間餘も距りたる入山瀬の中央に第一水門を設けて茲に水勢を激し其より水路を分岐して堀割を穿め第二第三水門を経て工場を去る凡そ三十四間の處に至り徑十二尺長さ二十七尺の第一鐵桶を置き茲に初めて水を直下せしむ此鐵桶より續て徑六尺三寸乃至七尺長さ二百二十尺の鐵管を斜に工場の一端に架設し水は一滴千里の勢も距りたる入山瀬の鐵枝管三條に配水を三個の水車に注ぐ水車は大小何れも等しからず大は三十六吋、中は二十五吋、小は十九吋にして大の水車は原料挫碎室の西壁外地盤より十八尺堀下げたる處にあり水落ち六十尺此水量一秒時間に百九立方尺、馬力五百九十三馬力を得て原料挫碎器械十三個、回轉原料釜五箇、原料漬器械一臺電燈一臺治場諸器械を運轉す二十五吋の水車も馬力四百十五馬力を有し十九吋の水車は馬力二百十四馬力を有して碎木原

蓄電器、光澤付錠、
場全部の諸器械活動するものなく總馬力
晝夜之を利用して此馬力を得んどす
構造に三萬三千六
らば蒸氣罐其他一
を要す構造の費用
開經費の上に於て